

S E N Dプログラム
2016 年インドネシア大学スプリングスクール二次募集のご案内
Spring Intensive Course for Indonesian Language and Culture

申 込 締 切： 2 0 1 6 年 1 月 1 5 日 (金) 正 午

【日程】

2016 年 2 月 21 日 (日) インドネシア・デポック市到着
2 月 22 日 (月) ～ 3 月 4 日 (金)：講義および研修（於インドネシア大学）
3 月 5 日 (土) 自由行動
3 月 6 日 (日) 帰国

【プログラム概要】

本プログラムは、インドネシアで最も古くに設立された伝統ある高等教育機関のインドネシア大学において、インドネシア語学および文化についての講義、インドネシア文化体験、インドネシア語母語話者との日本語も交えた交流と発表討論、実地研修等の機会を提供する。インドネシアの言語、文化、社会、歴史等について知識を深めるとともに、高度な異文化理解・交流が得られる。

【第二次募集詳細】

募集人数： 2～3名
募集対象： 京都大学に在籍する正規の学部生および修士課程大学院生
（大学院生は、文学研究科・教育学研究科・経済学研究科・農学研究科・
アジア・アフリカ地域研究研究科・経営管理大学院に所属の者を優先する）
応募条件： 異文化体験・異文化学習に高い意欲を持つ者

【費用詳細】

学費： 75,000～90,000 円（参加人数により変動）
航空券： 76,000～86,000 円（参加人数により変動）
海外旅行保険： 約 12,000 円
宿泊費： 20,000～35,000 円（参加人数により変動、ゲストハウス 2 名 1 室が基本）
国内移動費： 約 40,000 円
※ 最終決定通知後に参加を取りやめる場合、キャンセル料が発生する

【補助・支援詳細】

費用補助： 2～3名程度（1名につき 70,000～100,000 円：参加人数により変動）

【申込】

1. オンライン申請をおこなう（オンライン申請の手順については【別紙】参照）
2. 以下の書類（a-g は全員必須）をそろえ、下記の申請書類提出先に提出する
 - a. オンライン申請書を印刷し、自署したもの
 - b. 応募申請書（書式 1－2）
 - c. 語学力証明書（書式 3、英語に関する記入のみで可）
 - d. 成績証明書
 - e. 志望動機（書式自由、所属・学年・氏名を明記のこと、A 4 一枚程度）
 - f. 海外留学誓約書
 - g. パスポート（入国時に有効期限 6 ヶ月以上のもの）の顔写真ページのコピー
（未取得者はその旨申し出、早急に取得）
 - h. （任意）：語学試験（英語）のスコアのコピー

下記ホームページから、募集要項確認、オンライン申請、各種書類ダウンロードをおこなう。

＜国際交流センター＞ <http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/>

＜アジア研究教育ユニット＞ <http://www.kuasucpier.kyoto-u.ac.jp/>

申請書類提出先： 吉田本部構内 旧石油化学教室本館 1 階 国際交流センター

国際教育交流課 交流支援掛 075-753-2205

選考： 書類審査および面接によりおこなう。

【本件紹介先】 国際交流センター 河合 淳子 稲垣 和也 asean-send.6@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

【第二次募集・選考スケジュール】

第二次募集申込締切： 2016 年 1 月 15 日（金）12:00（正午）

面接： 2016 年 1 月 19 日（火）12:10-12:50（1 人 10～15 分程度）
於 吉田南構内 吉田国際交流会館 講義室 1

最終結果通知： 2016 年 1 月 20 日（水）

オリエンテーション： 2016 年 1 月 22 日（金）12:10-12:50
於 吉田南構内 吉田国際交流会館 講義室 6（出席義務あり）

海外渡航のためのヘルスケア・安全教育に関する講義

2016 年 2 月 4 日（木）12:10-12:50（出席義務あり）

於 吉田本部構内 国際交流センター KUINEP 講義室

【備考】

- ・同時期に実施される他プログラムとの併願を認めない。
- ・国際交流推進機構 国際交流センター提供の全学共通科目「日本語・日本文化演習」（2015 年度後期：火曜 2 限）を受講した上での参加を推奨している。
- ・自然災害等その他の事由により、プログラムが中止になることがある。
- ・参加者全員に、治療・救援費用無制限の AIU 海外旅行保険「インフィニティ・プラン」への加入を義務づける。
- ・本プログラムの受講は、文学研究科・文学部提供の多言語多文化科目「インドネシア研修」（アジア研究）の単位に充当されることがある。
- ・本プログラムは、大学の世界展開力強化事業（ASEAN 諸国等との大学間交流形成支援）「開かれた ASEAN+6」による日本再発見—SEND を核とした国際連携人材育成」の一環としておこなわれている。